



## 市民と野党の共闘不発、自民大勝、改憲勢力 2/3 超

星 北斗 (自民・公明推薦) 419,701票 (51.6%)  
 小野寺彰子 (無、立国社推薦) 320,151票 (39.3%)  
 佐藤早苗(無)30,913 窪山沙和子(参政)23,027 皆川真紀子 (N党) 19,829

投票率は53・40%。小野寺票は、2019年の野党統一候補水野さちこ34万5千を下回った。「市民と野党共闘運動」の不成立が敗因だ。連合などの姿勢が反映され、これまで野党候補が訴えた「原発ゼロ」が消えるなど、自公・星北斗候補に対抗する鮮明な旗幟を示せなかった。

2016年の参院選は共産も含めた野党共闘で無党派層もひきつけ議席を得た。だが今回、全国的な野党と市民の統一集會も開かれることもなく、共産党及び県市民連合、ミナセンなかどおり等が、バナーやプラカードを掲げて街頭に立つことにさえクレームが入ったという。昨年衆院選ではできた市民と野党の合同の街頭演説会も開けなかったし、ミナセンなかどおりが6月に開き多数の市民が参加した講演・リレートーク集會にも小野寺候補が顔を見せることはなかった。このような選対、立憲民主党の対応では、支持は狭まることはあれ、広がることもないのも当然であった。

こうした状況にもかかわらず、ミナセンなかどおりは、めげることなく「投票に行こう!」「女性候補を国会に!」「比例は野党に!」と訴える街頭スタンディングとSNSで展開し、各党集會では小野寺候補の名を挙げて支持を訴え続けた。

結果は、自民大勝、改憲勢力3分の2超。いよいよ、改憲発議から国民投票への道が開かれた。私たちには、この流れに抗して戦争のできる国づくりに立ち向かっていく運動を創り出していくことが求められる。

福島県の政党別比例得票数・率					全国の政党別比例得票率		
	2021衆院票	得票率(%)	2022参院選票	得票(%)	2021衆院%	2022参院%	増減
自民	333,624	37.88	336,818	42.16	34.66	34.43	-0.23
維新	46,815	5.31	62,927	7.88	14.01	14.8	0.79
公明	98,852	11.22	82,025	10.27	12.38	11.66	-0.72
立憲	226,771	25.74	110,936	13.89	20.00	12.77	-7.23
国民	45,972	5.22	41,769	5.23	4.51	5.96	1.45
共産	63,495	7.21	51,816	6.49	7.25	6.82	-0.43
れいわ	33,612	3.82	31,810	3.98	3.86	4.37	0.51
社民	20,219	2.30	35,717	4.47	1.77	2.37	0.60
N党	11,525	1.31	17,684	2.21	1.39	2.36	0.97
参政	—	—	18,918	2.37	—	3.33	—

◎第24回ミナセンなかどおり相談会  
 ・7月19日(水)午後2時半～ ・郡山医療生協多目的ホール  
 「参議院選挙の結果と展望、憲法改悪阻止・反核平和運動の推進」